

未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い

～第37回公民館研究集会 令和3年度地域づくり市民活動研究集会～

資 料 集

日 時 令和4年2月20日(日)

会 場 松本市中央公民館(Mウイング)

主催 松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会

主管 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会

目 次

全 体 資 料

開催要項	1
会場案内	3
開会式	4
令和3年度松本市公民館活動推進功労者名簿	5

全 体 会

基調講演「多様性のなかの『学びと自治』」	6
----------------------	---

分 科 会

第1分科会 いっしょに語ろう！ ～地域で共に輝く若者と住民たち～	35
第2分科会 子ども～子どものために、それぞれができること～	40
第3分科会 α ×地縁組織＝多様な連携で生み出す新しい風	47
第4分科会 多様な地域学習が未来をつくる。 ～自分の地域のコト知っていますか～	56
第5分科会 「誰もが住みよいまちづくり」ってなんだろう？	62
第6分科会 多様性のなかの『学びと自治』	69

関 係 資 料

「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」実行委員会名簿	73
「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」開催までの経過	76
「松本市公民館研究集会」「松本市地域づくり市民活動研究集会」 の経過・歩み	77

未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い

～第37回公民館研究集会 令和3年度地域づくり市民活動研究集会～

開 催 要 項

1 趣旨

超少子高齢型人口減少社会、新型コロナウイルスの世界的流行、大規模な自然災害の発生に加え、デジタル化など科学技術の急速な進展により、私たちは将来を見通すことが難しい時代にいます。この予測することのできない未来を切り拓いていくために私たちには、世代や性別、国籍、障がい、そして異なる意見や価値観といった個々の「違い」を認め合い、その「違い」を生かし力に変えていく多様性あふれるまちづくりが求められています。

そうした中、私たちは自分たちの暮らす社会(コミュニティ)と向き合い、多様な人びとと考え話し合い、行動していく力「学びと自治」をあらためて見つめなおすことが必要なのではないでしょうか。

この集いは、「学びと自治」を共通テーマに、地域住民や学生、市民団体、企業など様々な立場の住民と職員が一堂に会し、まちづくりの取組みや課題を持ち寄り、話し合い、ヒト・モノ・コトの「つながり」やそれぞれの活動を発展させていく「気づき」を生み出すことを目的に開催します。

2 期日

令和4年2月20日(日)

3 会場

松本市中央公民館(Mウイング)ほか3会場

(松本市中央 1-18-1 電話 32-1132/FAX 37-1153)

4 開催方法

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策として、会場を分散しオンラインでつなぎます。
- (2) YouTube(午前)及び Zoom(午後)と対面とを併用しハイブリット開催とします。

5 主催

松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会

6 主管

未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会

7 日程

9:00	9:30～9:45	9:50～11:50	11:50～13:00	13:00～16:30
受付	開会式	基調講演 パネルディスカッション	昼食	分科会

8 開催内容

- (1) 全体会(集い全体の趣旨について考え、午後の分科会へなげかけをする場
基調講演・パネルディスカッション

「多様性のなかの『学びと自治』」

コーディネーター 松本大学総合経営学部 松田 武雄 教授

パネリスト 寿台ハッピー食堂 コーディネーター 設楽 秀子 氏

パネリスト なかやま体験フェスタ 中山公民館長 鈴木 幹夫 氏

パネリスト 地域のなかでの多文化共生 NPO法人中信多文化共生ネットワーク
野村 ロセルダ 氏

(2) 分科会

全体会を受け、6分科会を設けテーマごとに話し合います。

	テーマ	会場
第1分科会	いっしょに語ろう！～地域で共に輝く若者と住民たち～	市民活動サポートセンター
第2分科会	子ども～子どものために、それぞれができること～	中央公民館
第3分科会	α ×地縁組織＝多様な連携で生み出す新しい風	松南地区公民館(なんなんひろば)
第4分科会	多様な地域学習が未来をつくる。～自分の地域のコト知っていますか～	松南地区公民館(なんなんひろば)
第5分科会	「誰もが住みよいまちづくり」ってなんだろう？	大手公民館
第6分科会	多様性の中の学びと自治～地域の担い手の育ちと違いを認め合う多様性のある地域づくり～	中央公民館

9 分科会のまとめ集約

- (1) 所定の用紙に分科会当日の概要をまとめ、ホームページへ掲載する等、形式を検討します。
- (2) SNS等で随時発信・記録し、集会後の活用につなげます。

10 参加申込について

2月15日(火)までに、専用フォーム(ながの電子サービス)へお申し込みいただくか、最寄りの地区公民館、または集会事務局(中央公民館)へインターネットフォーム・電子メール・電話・FAX・窓口でお申し込みください。

(申し込み時確認内容:氏名／住所／電話番号／参加を希望する分科会を第2希望まで／保育の有無／手話要約筆記)

【集会事務局】

〒390-0811 松本市中央 1-18-1 松本市中央公民館(Mウイング)

電話:0263-32-1132/FAX:0263-37-1153

E-mail:gakushu@city.matsumoto.lg.jp

11 その他

- (1) 松本市営中央駐車場(Mウイング北棟)は有料です。公共交通機関等でのご参加にご協力ください。
- (2) 手話通訳・要約筆記通訳が必要な方は事前にご相談ください。
- (3) 託児保育室(無料)を設けます。希望者は参加申込の際に合わせてお申し込みください。

会 場 案 内

■ 全体日程及び会場

開	会	式	9:30 ~ 9:45	会場：各会場及び YouTube
基	調	講	9:50 ~ 11:50	会場：各会場及び YouTube
昼	食	・ 休	11:50 ~ 13:00	会場：各会場
分	科	会	13:00 ~ 15:30	会場：各会場及び Zoom

下記をご参照ください。

■ 分科会場

No .	分科会・テーマ	会 場
1	第1分科会 いっしょに語ろう！～地域で共に輝く若者と住民たち～	市民活動サポートセンター
2	第2分科会 子ども～子どものために、それぞれができること～	中央公民館 会議室 3-2
3	第3分科会 $\alpha \times$ 地縁組織＝多様な連携で生み出す新しい風	松南地区公民館 大会議室
4	第4分科会 多様な地域学習が未来をつくる。 ～自分の地域のコト知っていますか～	松南地区公民館 会議室 4
5	第5分科会 「誰もが住みよい地域」ってなんだろう？	大手公民館 大会議室
6	第6分科会 多様性のなかの『学びと自治』 ～地域の担い手の育ちと認め合う多様性のある地域づくり～	中央公民館 ホール

■ 託児室(受付) 中央公民館保育室・松南地区公民館保育室・中央地区福祉ひろば

■ 集会本部(事務局) 中央公民館 2 階：生涯学習課・中央公民館事務室

開会式

9:30～9:45 会場:中央公民館6階ホール

次 第

- 1 開式
- 2 主催者代表あいさつ
- 3 公民館活動推進功労者への祝辞
- 4 閉式

令和3年度 松本市公民館活動推進功労者名簿

受彰者29名(順不同・敬称略)

氏 名	推 薦 館	役 職
やまぎし かつこ 山岸 勝子	中央	公民館運営審議会委員
あおやぎ しげる 青柳 茂	第二地区	文化委員
こばやし かんや 小林 寛也	第二地区	文化委員
なかふじ としお 中藤 俊夫	第二地区	体育委員、文化委員
まるやま まさみ 丸山 昌巳	第二地区	体育委員、文化委員
こばやし まりこ 小林 真理子	城北	非常勤職員
あおき みつよ 青木 光代	大手	文化委員
いぬかい とみお 犬飼 富雄	大手	文化委員
たきざわ すす 滝澤 澄夫	安原地区	地区公民館長
さくらい みきこ 櫻井 みき子	城東	公民館運営委員、文化委員
そや のくにひこ 征矢野 邦彦	城東	館報編集委員
ますだ しげき 増田 茂樹	城東	公民館運営委員、館報編集委員、図書視聴覚委員
こまつ ひろし 小松 浩	松南地区	体育委員
くりた つねこ 栗田 恒子	島内	文化委員
ももせ あきこ 百瀬 明子	中山	図書視聴覚委員、文化委員
あんどう きゆうじ 安藤 久治	島立	体育委員
にしむら ひろし 西村 弘	島立	館報編集委員
よこうち かずし 横内 一志	島立	館報編集委員
しおはら ひでとし 塩原 秀俊	神林	地区公民館長
のぐち まさる 野口 優	神林	公民館運営委員、館報編集委員、体育委員
こまつ ひであき 小松 英明	神林	館報編集委員、図書視聴覚委員、体育委員、文化委員
あかはね まこと 赤羽 信	神林	公民館運営委員、館報編集委員、体育委員
みさお しんいち 三澤 進一	里山辺	体育委員
もり たまき 森 玉樹	今井	体育委員
の もと みちお 野本 道夫	本郷	公民館運営委員、館報編集委員
しもこし かずのり 霜越 和典	本郷	体育委員
おおさわ よしいち 大澤 好市	四賀	公民館運営委員
たけうち まさえ 竹内 政恵	四賀	文化委員
うしだ けいこ 牛田 恵子	梓川	非常勤職員

基調講演・パネルディスカッション

■テーマ

「多様性のなかの『学びと自治』」

松本の公民館活動や地域づくりは、住民自ら、自分の暮らしと向き合い、皆で考え話し合い行動することで前進・発展してきました。このプロセスを『学びと自治』と捉え、違いを認め合い力に変えていく多様性あるまちづくりを目指す中で、これからの『学びと自治』について考えます。

また、集いを企画するにあたり市内の50を超える実践事例を収集しました。この中から3つの実践「子ども」「体験・交流・発信」「多文化共生」の実践者をパネリストに迎え、身近な活動を切り口に、テーマと私たちの暮らしを結び付けて考えます。

■講師

<コーディネーター>

松本大学総合経営学部 教授 松田 武雄 氏

大阪市生まれ。名古屋大学教育学部卒業、同大学院教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学。琉球大学助手・講師、埼玉大学教育学部助教授、九州大学助教授・教授を経て、2008年名古屋大学教育発達科学研究科教授となり、長年、松本市の町会や町内公民館を訪れ調査研究を行う。2017年退職、名誉教授。中村学園大学教育学部教授を経て2021年から松本大学総合経営学部教授。

<パネリスト>

寿台ハッピー食堂 コーディネーター 設楽 秀子 氏

松本市寿台在住。2016年、寿台児童館在籍中に仲間と「ハッピー食堂」を立ち上げる。その後、地域と児童館が連携をしながら運営を行い、今年で6年を迎える。2018年には全国の児童館・児童クラブ向けの「遊びのマルシェ」にて、プログラムアドバイザーとして活動を紹介、「子ども食堂」が「遊びのプログラム」の一つに登録される。現在は旭町放課後児童クラブに勤務。児童厚生一級特別指導員、長野県福祉大学校非常勤講師。

なかやま体験フェスタ 中山公民館長 鈴木 幹夫 氏

1956年三重県生まれ。日本福祉大学2部在学中から名古屋市内の学童保育指導員として働いていたが、32歳のとき松本に転居。技術専門校で木工技術を習得し、家具製作工房開設、その後60歳まで続ける。若い時から歌の創作・演奏活動が続け、松本で立ち上げた歌のグループ「ぽこ・あ・ぽこ」は今年28年目を迎え、全国各地で演奏活動。館長4年目。

地域のなかの多文化共生実践者 野村 ロセルダ 氏

フィリピンのミンダナオ島、ダバオ市生まれ。現在は中学生と小学生の二人の子のお母さん。仕事はフリーランス ESL 教師。松本市の多文化共生プランキーパーソンへ登録。子育てしながら、CTN(NPO 法人 中信多文化共生ネットワーク)、PTA、地域での多文化共生実践活動に積極的に取り組む。

「未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第37回公民館研究集会 令和3年度地域づくり市民活動研究集会～」実行委員名簿

【実行委員長】

No.	氏 名	所属・役職等
1	柏澤 由紀一	松本市公民館長会会長(芳川公民館長)

【副実行委員長】

No.	氏 名	所属・役職等
1	内 山 博 行	松本市町会連合会会長
2	百 瀬 壽	松本市町内公民館館長会会長

【実行委員会幹事】

No.	氏 名	所属・役職等
1	内 山 博 行	松本市町会連合会会長
2	百 瀬 壽	松本市町内公民館館長会会長
3	降 旗 都 子	松本市地域づくり市民委員会委員長
4	向 井 健	松本市公民館運営審議会会長
5	倉 澤 聡	都市計画家
6	石 田 さち子	ハーネスの会
7	中 田 安 子	長野県生涯学習推進センター専門支援員
8	内 田 佑 香	信州大学地域参画プロジェクトCHANGE
9	桑 原 美 由 紀	NPO法人てくてく代表

【分科会コーディネーター・話題提供者等】

No.	氏 名	所属・役職等
1	鈴 木 七 海	ロbbieキ(信州大学)
2	高 宮 充	ボヘミアン珈琲(信州大学)
3	東 太 陽	奈川えんがわプロジェクト
4	杉 橋 雅 優	銭湯サークル(信州大学)
5	平 林 洸	松本市地域づくりインターン
6	木 下 明 子	島立っ子 森・杜探検隊 代表
7	竹 淵 那 美	にこにこ応援隊 代表
8	金 澤 大 典	県ヶ丘高等学校探求科 教諭
9	増 田 龍 美	はらぺこあおむし 事務局長
10	大 蔵 真 由 美	松本大学教育学部学校教育学科 准教授
11	藤 森 俊 昭	ゆいまーる子ども食堂 主催者
12	新 保 俊 尚	松原モールぷろじえくと 代表
13	鈴 木 幹 夫	松本市中山公民館 館長
14	降 旗 都 子	第三地区まちづくり協議会副会長 第三地区公民館報編集委員長
15	松本工業高校生	アニメーション制作
16	上 條 光 司	島内公民館 館長
17	横 内 今日子	南西部包括支援センター センター長
18	上 杉 久 美 子	(株)アイン信州和田土屋薬局 薬剤師
19	太 田 早 苗	陽だまりcaféしあわせ オーナー
20	向 井 健	松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 准教授
21	松 田 武 雄	松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授
22	設 楽 秀 子	寿台ハッピー食堂
23	小 岩 井 速 人	なかやま体験フェスタ実行委員長 中山地域づくり協議会活性化部会長
24	野村 ロセルダ	地域のなかの多文化共生実践者
25	宇 留 賀 智	地域づくり課 課長補佐
26	新 村 弘 樹	こども福祉課 課長補佐
27	山 本 修 平	こども福祉課 課長補佐
28	梶 山 直 樹	人権共生課 主事

【実行委員】

No.	氏 名	所属・役職等
1	水 野 範 明	第一地区公民館長
2	早 坂 義 導	第二地区公民館長
3	赤 沼 礼 一	第三地区公民館長
4	宮 下 隆 夫	東部公民館長
5	田 中 正	城北公民館長
6	高 野 隆 治	大手公民館長
7	藤 野 一 男	安原地区公民館
8	佐 藤 昭 明	城東公民館長
9	内 藤 哲 夫	白板地区公民館長
10	森 下 隆 弘	田川公民館長
11	筒 井 文 男	庄内地区公民館長
12	田 中 健 太 郎	鎌田地区公民館長
13	白 澤 幸 男	松南地区公民館
14	上 條 光 司	島内公民館
15	鈴 木 幹 夫	中山公民館
16	伊 藤 悦 夫	島立公民館
17	新 村 芳 男	新村公民館長
18	萩 原 正 人	和田公民館長
19	丸 山 勝 久	神林公民館長
20	山 田 賢 司	笹賀公民館長
21	柏 澤 由 紀 一	芳川公民館長
22	百 瀬 康 雄	寿公民館長
23	坂 井 久 吉	寿台公民館長
24	下 村 純	松原地区公民館長
25	深 井 久 仁 彦	岡田公民館長
26	小 笠 原 鉄 夫	入山辺公民館長
27	小 幡 泰 俊	里山辺公民館長
28	櫻 井 貞 文	今井公民館長
29	丸 山 明 良	内田公民館長
30	橋 本 眞 一	本郷公民館長
31	藤 松 正 之	四賀公民館長
32	百 瀬 一 美	安曇公民館長
33	忠 地 愛 男	奈川公民館長
34	川 村 吉 郎	梓川公民館長
35	輪 湖 明	波田公民館長
36	遠 藤 彰	第一地区公民館主事
37	窪 田 陸	第二地区公民館主事
38	樋 口 美 智 子	第三地区公民館主事
39	三 枝 成 葉	東部公民館主事
40	西 澤 瑞 枝	城北公民館主事
41	中 條 克 明	大手公民館主事
42	板 花 良 太	安原地区公民館主事
43	朝 倉 光 貴	城東公民館主事
44	岩 垂 宏 直	白板地区公民館主事
45	大 月 悠 太	田川公民館主事
46	奥 原 直 弥	庄内地区公民館主事
47	川 西 久 美	鎌田地区公民館主事

No.	氏 名	所属・役職等
48	伊 藤 貴 浩	松南地区公民館主事
49	上 嶋 秀 俊	島内公民館主事
50	丸 山 雅 之	中山公民館主事
51	浅 井 勇 太	島立公民館主事
52	太 田 正 太 郎	新村公民館主事
53	中 田 真 実	和田公民館主事
54	三 村 和 紀	神林公民館主事
55	加 藤 正 洋	笹賀公民館主事
56	北 原 将 年	芳川公民館主事
57	永 春 美 香 子	寿公民館主事
58	大 津 茜	寿台公民館主事
59	合 津 朋 実	松原地区公民館主事
60	田 中 貢 治	岡田公民館主事
61	吉 田 将 大	入山辺公民館主事
62	吉 田 望 花	里山辺公民館主事
63	宮 澤 理 沙	今井公民館主事
64	石 原 萌	内田公民館主事
65	分 部 哲 志	本郷公民館主事
66	小 宮 山 秀 樹	四賀公民館主事
67	羽 田 大 樹	安曇公民館主事
68	真 関 健	奈川公民館主事
69	黒 田 晋	梓川公民館主事
70	奥 原 和 宏	波田公民館主事
71	吉 澤 拓	第一地区地域づくりセンター長
72	二 木 昭 彦	第二地区地域づくりセンター長
73	降 旗 英 明	第三地区地域づくりセンター長
74	武 井 義 正	東部地区地域づくりセンター長
75	佐 藤 憲 明	城北地区地域づくりセンター長
76	上 條 昭 規	中央地区地域づくりセンター長
77	田 村 明 彦	安原地区地域づくりセンター長
78	三 澤 孝 吉	城東地区地域づくりセンター長
79	永 瀬 幸 道	白板地区地域づくりセンター長
80	小 野 真 一	田川地区地域づくりセンター長
81	甕 国 人	庄内地区地域づくりセンター長
82	田 中 治	鎌田地区地域づくりセンター長
83	金 井 稔	松南地区地域づくりセンター長
84	勝 家 隆	島内地区地域づくりセンター長
85	塩 野 崎 隆 夫	中山地区地域づくりセンター長
86	米 田 秀 俊	島立地区地域づくりセンター長
87	高 山 芳 伯	新村地区地域づくりセンター長
88	村 山 佳 子	和田地区地域づくりセンター長
89	伊 藤 裕 明	神林地区地域づくりセンター長
90	百 瀬 功 三	笹賀地区地域づくりセンター長
91	塩 原 正 秀	芳川地区地域づくりセンター長
92	百 瀬 靖 恵	寿地区地域づくりセンター長
93	高 山 明 洋	寿台地区地域づくりセンター長
94	牛 丸 尚 久	松原地区地域づくりセンター長

【実行委員】

No.	氏 名	所属・役職等
95	山 岸 清 治	岡田地区地域づくりセンター長
96	村 田 誠 司	入山辺地区地域づくりセンター長
97	加 藤 政 彦	里山辺地区地域づくりセンター長
98	村 山 育 朗	今井地区地域づくりセンター長
99	伊 藤 和 宏	内田地区地域づくりセンター長
100	清 澤 秀 幸	本郷地区地域づくりセンター長
101	神 谷 孝	四賀地区地域づくりセンター長
102	大 野 晃 永	安曇地区地域づくりセンター長
103	高 山 昇	奈川地区地域づくりセンター長
104	田 多 井 清 純	梓川地区地域づくりセンター長
105	百 瀬 朋 章	波田地区地域づくりセンター長
106	小 岩 井 一 樹	生涯学習課・中央公民館主任
107	宮 下 明 日 香	生涯学習課・中央公民館事務員
108	大 和 健 司	生涯学習課・中央公民館事務員
109	萩 原 崇 嘉	地域づくり課課長補佐
110	大 久 保 圭 司	地域づくり課係長
111	内 田 裕 美	地域づくり課主査
112	塚 原 有 香	地域づくり課主事
113	瀧 澤 麻 純	地域づくり課事務員
114	小 山 雄 聖	地域づくり課事務員

【事務局】

No.	氏 名	所属・役職等
1	藤 森 誠	教育部長
2	村 山 修	住民自治局長
3	高 橋 伸 光	生涯学習課長・中央公民館長
4	廣 田 圭 男	地域づくり課長
5	床 尾 拓 哉	地域づくり課地域づくり担当係長
6	胡 桃 澤 伸 一	地域づくり課市民活動推進担当係長 兼ユースサポート担当係長
7	平 林 祐 介	生涯学習課・中央公民館主任
8	太 田 晴 香	地域づくり課主事

「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」 経過(令和3年度)

4月30日	第1回幹事会	集会の方向性、内容及び体制等を検討
8月中	分科会テーマ募集	各地区職員を介して住民の要望把握
4月19日	市民幹事検討会	集会の方向性を検討
9月 2日	準備会	集会のキーワード・ねらいについて意見交換。コロナ禍対策を検討
9月30日	第1回幹事会	集会趣旨、分科会テーマ設定方法の検討
10月中	35地区で実践事例調査	50以上収集。分科会テーマ設定の材料
10月22日	第1回実行委員会	集会の方向性、趣旨、体制、要項の検討 分科会の提案
同日	第2回幹事会	分科会テーマ検討、設定
11月上旬	分科会運営委員会スタート	
12月16日	幹事・世話人合同会議	趣旨と基調講演・分科会の整合を図る。 分科会の進捗報告
2月 1日	第2回実行委員会	開催要項、分科会、当日の役割分担、スケジュール等の確認
分科会運営委員会の開催(11月～当日まで随時)		

松本市公民館研究集会・地域づくり市民活動研究集会の経緯・あゆみ

1 松本市公民館研究集会

年度	回数	日程		運営全般の状況	備考
		基 調 講 演	分 科 会 等		
56	第1回 公民館大会				開催直前で中止
60	第1回 1986.3.15(土) 13:00～16:00 中央公民館	<パネルディスカッション> 『松本市の公民館の現状と課題』			
61	第2回 1987.12.7(日) 9:30～16:00 教育文化センター	<実践発表> 『学習・文化・ボランティアの まちづくり』 手塚英男	①運営上の問題点 ②生活課題文化活動 ③体育・レクリエーション活動 ④図書・視聴覚活動 ⑤公民館広報活動		
62	第3回 1988.2.20(日) 13:00～17:20 教育文化センター	<講演> 『社会教育と公民館の役割』 馬場将光	<テーマ> 「地域づくり、仲間づくりをすすめるには」 ①市民団体・サークルの活動 ②町内公民館の活動 ③市、条例公民館の活動の実践を1分散 会として構成		
63	第4回 1988.12.17(土) 13:00～17:30 あがたの森文化会館	<基調講演> 『生涯学習と公民館』 生涯学習体系への移行とこ れからの公民館 小林文人	<地域別分散会> (5ブロック) 基調講演をもとに生涯学習の動向を踏ま え、今まで進められてきた各地域での住 民主体の学習活動、地域活動を話し合う		
元	第5回 1989.12.16(土) 13:00～17:30 総合社会福祉センター	<基調講演> 『住民主体の公民館活動をめざして』 私たちにとっての生涯学習とは 小林文人	①公民館の運営 ②文化活動 ③公民館広報活動 ④図書視聴覚活動 ⑤スポーツレクリエーション ⑥同和・人権教育 ⑦地域と福祉 ⑧地域づくり ⑨団体サークル活動 ⑩生涯学習と公民館	○午前基調講演・ 午後10の分科会の 構成 ○手話・要約筆記 通訳設置	
2	第6回 1990.12.15(土) 12:00～17:00 なんなんひろば	<基調講演> 『生涯学習とは』 藤岡貞彦	①同和・人権学習活動 ②スポーツレクリエーション ③地域福祉とボランティア ④グループ・サークル活動 ⑤地域づくりと地域課題 ⑥仲間づくりと地域ネット ⑦地域づくりと生活環境問題 ⑧公民館委員の役割 ⑨町内公民館とのかかわり ⑩乳幼児と親のクラブ活動	○地域づくり分科 会 ○課題別分科会	
3	第7回 1991.12.14(土) 12:00～17:00 中央公民館	<基調講演> 『地域からの発想を！』 ー生涯学習時代に向けてー 深沢恒男	①同和・人権学習活動 ②スポーツレクリエーション ③地域福祉とボランティア ④グループ・サークル活動 ⑤地域づくりと地域課題 ⑥仲間づくりと地域ネット ⑦地域づくりと生活環境問題 ⑧公民館委員の役割 ⑨町内公民館と地区公民館のかかわり ⑩青年の活動から		○公運審中間答申 『生涯学習時代にお ける松本市公民館 のあり方』
4	第8回 1993.1.31(日) 9:30～16:00 中央公民館	<基調講演> 『地域づくりが時代を拓く』 島田修一	①人権・平和 ②健康・スポーツ ③地域福祉とボランティア ④団体・サークル ⑤地域文化と地域づくり ⑥暮らしと環境 ⑦町内公民館 ⑧公民館委員 ⑨学校・地域・子ども ⑩青年	○分科会運営委員 会設置／市民運営 委員の参画 ○保育室設置 ○分科会に継続性 をもたせる	○社会教育研究全国 集会(松本の学び 根っこワーキング 発刊) ○生涯学習懇話会
5	第9回 1994.1.30(日) 9:00～16:00	<基調講演> 『地域実践発表～風と土を結んで～ 長谷部三弘	①人権・平和 ②健康・スポーツ ③地域福祉とボランティア ④団体・サークル	○合同運営委員会 (事後) <オープニングセレモニー 太鼓連の競演	

年度	回数	日程		運営全般の状況	備考
		基 調 講 演	分 科 会 等		
	中央公民館		⑤地域文化と地域づくり ⑥暮らしと環境 ⑦町内公民館 ⑧公民館委員 ⑨学校・地域・子ども ⑩青年		
6	第10回 1995.1.29(日) 9:00～16:00 中央公民館	<地域紹介> 今井のひだまりコンサート <座談会／ライブトーク> 『松本の魅力を探る』 柄沢清太郎・滝沢歳ミ・白戸 洋・北村明也	①人権・平和 ②健康づくり ③地域福祉とボランティア ④地域文化と地域づくり ⑤自然・環境 ⑥地域ネットワークと公民館 ⑦公民館委員 ⑧団体・サークル ⑨学校・地域・子ども ⑩青年		○生涯学習基本構想
7	第11回 1996.1.28(日) 9:00～16:00 中央公民館	<映画> 『5等になりたい』 <基調講演> 『学びと自治を築く公民館』 長澤成次	①人権・平和 ②健康づくり ③地域福祉とボランティア ④地域文化と地域づくり ⑤自然・環境 ⑥公民館委員 ⑦団体・サークル ⑧親子サークル ⑨学校・地域・子ども 青年	○実行委員会幹事 会に分科会運営委 員(市民)が参画 ○集会報告会の開 催 コメンテーター :小林文人	
8	第12回 1997.1.26(日) 9:00～16:00 中央公民館	<基調講演> 『共に生きることと地域を創 ること～地域に根ざす公民 館の役割』 佐藤一子	①人権・平和 ②健康づくり ③地域福祉とボランティア ④地域文化と地域づくり ⑤自然・環境 ⑥公民館委員 ⑦団体・サークル ⑧親子サークル ⑨学校・地域・子ども ⑩青年	○集会報告会の開 催 コメンテーター :佐藤一子	
9	第13回 1998.1.25(日) 9:30～16:00 中央公民館	<シンポジウム> 『身近な地域から…住民自ら が主役になって！』 竹沢清治・大下京子・大内文 子・松井逸雄・藤沢良彦・百瀬 力・小岩井登嗣治・赤井幸子 赤松純子・松田昌子・祢津幸 隆	①人権・平和 ②健康づくり ③地域福祉とボランティア ④地域文化と地域づくり ⑤自然・環境 ⑥公民館委員 ⑦団体・サークル ⑧親子サークル ⑨学校・地域・子ども ⑩青年	○午前～午後への 継続考慮 ○集会報告会の開 催	
10	第14回 1999.2.21(日) 9:30～16:00 中央公民館	<座談会> 『出会い、交流、自分探し～そ して文化へ』 畑潤・有賀由延・能勢伸子・茅 野俊幸	①人権・平和 ②地域福祉 ③地域文化活動 ④自然環境問題 ⑤利用団体・サークル ⑥母と子・子育て ⑦学校・地域・子ども ⑧青年 ⑨地域スポーツ活動	○過去数回の課題 や反省をもとに 質的転換を図る ○分科会の再編成 ○公運審・町内公 民館長会代表者 が幹事会へ参画	○公運審『公民館政 策への提言』 ○松本市公民館発足 50年
11	第15回 2000.1.30(日) 9:20～16:00 中央公民館	活動史発刊記念フォーラム 『21世紀にむけた松本市の 公民館像は…』 小林文人・矢久保公司・中村 阿い子・手塚英男・白戸 洋・ 武藤みゆき・塩原麻衣子・須 沢直樹・高見とも子・森山節 子	①高齢者の人権 ②地域福祉 ③地域文化 ④自然環境 ⑤利用団体・サークル ⑥母と子・子育て ⑦子ども・学校・地域 ⑧青年 ⑨地域スポーツ活動	○活動史発刊を記 念し開催 ○分科会の新たな 見直し(次回へ向 けて)	
12	第16回 2001.2.25(日) 9:00～16:00 中央公民館	<パネルディスカッション> 『地域の課題を公民館活動に 活かし、学び広げよう！』 辻浩・大池幸一郎・仙石博茂・ 神谷あり子	<グループディスカッション> ①町会・町内公民館と自治活動 ②共に認め合う社会づくり ～男女共同参画・人権～ ③子どもを取り巻く地域社会 ④健康づくりとスポーツ ⑤地域福祉のまちづくり ⑥地域の自然・環境 ⑦公民館・社会教育の未来を語る		○公民館活動史、実 践事例集発刊 ○公運審答申「21世 紀にむけた松本市 公民館のあり方につ いて」 ○社会教育法改定

年度	回数	日程		運営全般の状況	備考
		基調講演	分科会等		
			⑧フリートーク～自由に言い合おう		
13	第17回 2002.2.16(土) 12:00～17:30 中央公民館	<講演会> 『住民参加と公民館』 吉川 徹	①地域づくりと町会・町内公民館 ②人権・男女共同参画 ③地域福祉のまちづくり ④健康づくりと地域スポーツ ⑤自然・環境 ⑥住みよいまちづくり ⑦子ども・地域・学校 ⑧住民参加と公民館		
14	第18回 2003.2.16(日) 10:00～16:00 中央公民館	<基調対談> 『これからの地域・公民館の役割は?』 小林文人・白戸洋	①人権を基盤とした文化の創造と公民館 ②健康福祉・スポーツと公民館 ③環境と共生した地域づくりと公民館 ④子どもが育つ地域と公民館 <課題別分科会> ⑤新しい、公民館の地域づくりネットワーク(町会・町内公民館、NPO) ⑥住民参加と公民館		○公運審「調査研究報告書」提出
15	第19回 2004.2. 8(日) 10:00～16:00 中央公民館	<基調講演> 『人にやさしい、幸せな暮らし よいまちづくりをめざして』 辻 浩	①人権 ②健康福祉 ③環境 ④住民自治 ⑤住民参加と公民館 ⑥子どもの居場所(ワークショップ)		
16	第20回 2005.2.20(日) 10:00～16:00 中央公民館	<基調講演> 『地域の学びを支える公民館の力』 ・「公民館と協同してすすめる健康学習」 山本昌江 ・「あらためて、公民館が地域の力になるために」 細山俊男	①障害者もだれもが共に生きる社会 ②平和の願いを地域へつなぎましょう! ③実践しつつ福祉計画づくり ④環境を大切に地域づくり ⑤みんなで話しましょう <ワークショップ> ⑥住民自治～町会と町内公民館 ⑦住民自治～福祉ひろばと公民館 ⑧住民自治～地区公民館と町内公民館	○公民館の位置付けと集会の意義を再確認 ○分科会「討議の柱」設定	○「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し、文部科学省に意見書を提出(連名) ○公運審報告「公民館運営と公運審のあり方」
17	第21回 2006.2.19(日) 10:00～16:00 中央公民館	<基調講演> 『地域づくりに向けた、公民館の可能性』 櫻井常矢	①誰もが認め合って共に生きられる社会 ②平和への思い、若い人へ ③地域福祉計画策定から実施へ ④自然災害と地域防災 ⑤子どもの遊びと憩いの教室 ⑥子どもが夢を持って輝くために ⑦文化力は地域力だ ⑧住民自治:そこに暮らす住民自身のために・・・	○市民実行委員を各地区より推薦 ○分科会テーマを、実行委員アンケートの集約で設定 ○子どもと遊ぶ中から学ぶ分科会「子どもの遊びと憩いの教室」の設定	○町内公民館活動のてびき、活動実践集発刊
18	第22回 2007.2.25(日) 10:00～16:00 中央公民館	<基調講演> 『自ら治める「住民自治」をめざして』 岡庭一雄	①地域で支える子どもの人権 ②誰もが ふれあい ひろがる まちづくり ③子どもの本音は?～地域活動のあり方～ ④身近な生活の中で、地球温暖化を考える～レジ袋で止まるか、温暖化～ ⑤地域づくりは公民館から ⑥今 動き出した防災と福祉のまちづくり	○集会の意義を再確認 ○市民参加を促すため、メインタイトルを「地域活動市民のつどい」とした。 ○ワークショップで実行委員の意見を集約し、これをもとに分科会を設定 ○分科会(環境)で企業(イオン)が話題提供 ○副実行委員長に「公民館委員代表」を追加	
19	第23回 2008.2.16(土)～17(日) 9:30～17:00 中央公民館	<パネルディスカッション> 「明日から何ができる」 □話題提供者 手塚英男 (生涯学習実践者) □コーディネーター 白戸 洋 (松本大学教授) □パネリスト 築山 崇 (京都府立大学教授)	①市民団体と連携による地域づくり □コーディネーター 新海英行 (愛知学院大学教授) □話題提供者 木下 巨一 (飯田市環境課 ISO 推進係長) 茅野 俊幸 (社団法人サンティ国際ボランティア会事務局長) ②地域福祉の推進と地域づくり □コーディネーター	○公民館発足60周年記念事業の一環として、本集会至上初の2日開催。 ○地域・社会づくり活動に携わる様々な団体・個人の情報発信の場としてポスターセッション等	○公運審答申「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」

年度	回数	日程		運営全般の状況	備考
		基 調 講 演	分 科 会 等		
		渡辺庸子 (福井県公民館連合会事務局長) 田中秀一 (元松本市町会連合会会長)	尻無浜 博幸 (松本大学准教授) □話題提供者 山本 昌江 (所沢市保健センター成人保健課保健師) 平林 宏美 (笹賀地区福祉推進協議会会長) ③地域で育む自治 □コーディネーター 小林 文人 (東京学芸大学名誉教授) □話題提供者 島袋 正敏 (元名護市教育次長) 三村 伊津子 (松本市町内公民館館長会副会長) ④人づくりと公民館 □コーディネーター 築山 崇 (京都府立大学教授) □話題提供者 田中 純子 (岡山市立京山公民館社会教育主事) 石田 さち子 (公民館運営審議会委員)	を初開催。 ○食事をとりながら、色々な皆さんと気楽に語り合い、情報交換や交流を深める場として全体交流会を初開催。 ○「誰もが住みよいまちづくり」というメインテーマのもと、8グループに分かれて、分散会を開催	
20	第24回 2009.2.15(日) 9:30～17:00 中央公民館	<基調講演> 『実践的住民自治の回顧と展望』 高橋 彦芳	①みんなが主役！顔が見えるまちづくり (住民主体の活動) ②松本らしい地域づくりに向けて～都市内分権と公民館～ ③防災と福祉のまちづくり ④公民館委員会の現状と展望！？ ⑤住みよいまちをつくる町会・町内公民館の活動 ⑥若者が見て聞いて、感じた平和とは！ ～人権、多文化共生を身近に考える～ ⑦地域みんなで子育て支援 ⑧できることからはじめよう！家庭内エコ～暮らしと環境		
21	第25回 2010.2.21(日) 10:00～16:20 中央公民館	テーマ:「学び合い 創ろう 誰もがすみよいまち～支え合いが未来を築く～」 <基調講演> 『松本市公民館活動の新たな展開』 ～松本市における住民の学習・地域活動調査から探る～ 築山崇	①学校を支える地域づくり ②小さな町会でもできる地域活動 ③地区独自の特色ある委員会活動から学ぶ住民参画による地域づくり ④人が集い楽しい公民館 ⑤多様な生きかたを認め合う街づくり～多文化共生を考える～ ⑥「公民館ってどんなところ？」～人と人との出会いから何かが生まれる～ ⑦地産地消から学ぼう！考えよう！作りだそう！ ⑧言いたい放題～つながり・ひろがり・ふかまりあう「地域」をめざして～	○牛山正博氏によるバイオリン演奏会	
22	第26回 2011.2.20(日) 09:30～16:30 中央公民館	テーマ:「松本市の市民活動を振り返り、これからの公民館活動を考えよう！」 <基調講演> 『地域自治・住民自治と公民館活動の可能性～期待される公民館』 松田武雄	①町会・町内公民館・地区公民館の連携ってなに？ ②みんなで語ろう！戦争とは？平和とは？ ③松本の自然保全と再生のために ④無縁社会における公民館と福祉ひろばのあり方 ⑤子ども、子育て支援における公民館、地域の役割 ⑥地域の中の総合的ネットワーク拠点としての公民館のあり方	<地域情報発信> 地区再発見情報発信事業 「わがまち再発見」の上映 ○集会タイトルから「地域活動市民のつどい」を外す。	

年度	回数	日程		運営全般の状況	備考
		基 調 講 演	分 科 会 等		
23	第27回 2012.2.19(日) 9:30~16:30 中央公民館	テーマ:「地域とくらしの“いま”を見つめなおし、これからの公民館と地域づくりを考えよう！」 <基調講演> 『東日本大震災と社会教育』 石井山竜平	①松本らしい地域づくりに向けて、町会・町内公民館・地区公民館の連携と役割を考えてみよう！ ②言葉や文化の違いを認め合える地域づくり ③松本の自然保全と再生のために ④無縁社会から絆社会へ ⑤未就学児に対して公民館に何ができ、どう関わり、コーディネートしていくのか ⑥防災から考える地域づくり ～6.30 松本地震から学ぶ～ ⑦地域と地域にとらわれない団体の連携 ⑧地域づくりと公民館	<地域情報発信> 「寿台太鼓連」の活動紹介及び和太鼓演奏	○市地域づくり課設置
24	第28回 2013.2.17(日) 9:30~16:30 中央公民館	テーマ:「地域とくらしの“いま”を見つめ、これからの公民館と地域づくりを考えよう！」 <基調講演> 『福祉基盤強化による松本の地域づくりのあり方』 尻無浜 博幸	①町会・町内公民館・地区公民館と地域づくりの関わり～地域づくり支援センター(仮)の発足に向けて～ ②地域として多文化共生をどのように推進するか ③清流「梓川」の環境保全活動の“取り組み”と“思い”～公民館学習活動から生まれた“気づき”“学び”“実践”～ ④住民同士の支え合いを育む地域福祉 ⑤地域で子どもを育てる ⑥あなたの地域の防災組織は機能していますか？ ⑦ふるさとへの愛着を育む文化活動 ⑧人や地域がつながる公民館～若い力を地域へつなごう～ ⑨自由に話をしよう！		○第53回関東甲信越静公民館研究大会(松本市) ○『松本市公民館活動実践事例集』発刊 ○地域づくり実行計画
25	第29回 ※ 大雪のため中止 2014.2.16(日) 中央公民館	テーマ:「地域をつなぎ暮らしを創る～公民館の可能性～」 <基調講演> 『3.11 以後の公民館の使命』 吉田 博彦	①町会・町内公民館「暮らしやすい地域にするには～町会・町内公民館は七位ができるか～」 ②人権「知ってほしい子どもたちの“今”守ろう子どもたちの未来」 ③学校と地域「子どもを育てる大人の思い」 ④防災「地域の暮らしと防災をつなぎ、必要とされる公民館をめざして」 ⑤工芸「暮らしと工芸 ～地域の文化的資源が活きるまちづくり～」 ⑥景観「地域の景観形成に向けた公民館の存在意義」 ⑦交通「さよなら渋滞 ～楽しく散策できる城下町をめざして～」 ⑧若者「若者が活きるまちづくりをめざして ～若者で拡がる 若者につながる」 ⑨高齢者「地域の移動支援活動から考える支え合い」 ⑩自然エネルギー「こんなにあったの！？身近な自然エネルギー」	○文科省委託事業「公民館の学びがつなぐ、松本らしい地域づくり・人づくり」事業のテーマ型6講座に基づく6つの分科会	○文科省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」
26	第30回 2015.2.15(日) 9:30~16:30 中央公民館	テーマ:「地域をつなぎ暮らしを創る～公民館の可能性～」 <基調講演> 『3.11 以後の公民館の使命』 吉田 博彦	①町会・町内公民館「地域と人をつなぐ町会・公民館の役割とは」 ②人権「人権ってなにに！」 ③自然・環境「暮らしの中の自然環境」 ④子ども・子育て「今の子育てに、地域や公民館ができること」 ⑤地域と学校「子どもを育てる住民の思い～共有から実践へ、そして継続へ～」 ⑥地域福祉「町会での見守り活動から繋げる支え合い」 ⑦防災「中越地震に学び、地域を見つめ、ともに考えましょう」 ⑧地域文化「地域が文化を生む・育てる・守る」 ⑨若者と地域「若者たちの地域デビュー」 ⑩公民館委員会「公民館委員の学びによる地域づくり」 ⑪特別分科会「公民館の学びがつなぐ、松本らしい地域づくり・人づくり」	○文科省委託事業「公民館の学びがつなぐ、松本らしい地域づくり・人づくり」事業の報告会として、特別分科会を設営	○集会として最多の11分科会を実施

年度	回数	日程		運営全般の状況	備考
		基 調 講 演	分 科 会 等		
27	第31回 2016.2.14(日) 9:30～16:30 中央公民館	テーマ:「地域を学びでつなぎ「暮らし」を創る～公民館の可能性～」 <パネルディスカッション> 「松本市の公民館の新たな可能性」 □コーディネーター 御子柴宏 (松本市公民館運営審議会副委員長) □パネリスト 井上信宏 (信州大学教授) 船木成記 (尼崎市顧問)	①地域への主体的参加「地域への主体的参加」 ②松本らしい地域づくり「公民館が学びの場として大切にしてきたこと、大切にしたいこと」 ③社会的弱者へのアプローチ「社会的弱者とは？あなたの周りに「困った人」はいませんか？」 ④地域資源の活用「歴史・自然・人と公民館の関わり」 ⑤多様な連携による地域での子育て「今、地域・家庭・学校三者間の協力連携がなぜ必要か」 ⑥地域での防災と福祉「被災の教訓を活かし、地域を見直し、支え合う仕組みをめざそう」 ⑦地域と若者「温かいまちってどんなもの？～若者がかかわる地域を考える～」 ⑧人材育成と担い手不足「人材の発掘と生きがいの仕組みづくり」 ⑨公民館のあり方「私たちの地域デビュー」	<情報発信> 「環境」をテーマに地域で活動するさまざまな団体が活動内容や成果を発信	
28	第32回 2017.1.28(土)～29(日) ①12:30～19:25 ②8:30～12:40 まつもと市民芸術館、中央公民館	テーマ:「住民主体の地域づくり～自治と協働のまちづくりをめざして～」 <前大会までの集会振り返り> 「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会とは～これまで2大会の振り返り～」 □進行 木下巨一 (飯田市公民館副館長) □登壇者 竹林昌秀 (政策研究大学院大学特任講師・まんのう町議会議員) 船木成記 (兵庫県尼崎市顧問) 牧野篤 (東京大学大学院教育学研究科教授) <パネルディスカッション> 「松本が育んできた住民自治と協働の力を、今後のまちづくり・地域づくりへどのように活かしていくのか」 □コーディネーター 築山崇 (京都府立大学学長) □パネリスト 伊藤学司 (前長野県教育長) 白戸洋 (松本大学総合経営学部教授) 三村伊津子 (元松本市町内公民館館長会会長) 菅谷昭(松本市長) <全国リレートーク> 「自治と共同のまちづくりを進めるために求められるものは何か」 □コーディネーター	①「どうすれば「自分たちの地域は自分たちで創る」という発想が生まれるのか？」 ②「住民が主体的に地域を元気にする取り組み」 ③「地域資源を活かした多様な連携による健康づくりの取り組みから」 ④「魅力を感じる地域の作りかた、その実践のヒント」 ⑤「地域づくりの担い手となる子どもを育てる～子どもは地域の宝物～」 ⑥「聴こえますか？こどものSOS」 ⑦「だれもが安心できる暮らしをめざした「地域での支え合い」」 ⑧「若者が持つ地域づくりの可能性と話題」 ⑨「自然環境の保全と地域づくり」 ⑩「学びが地域を動かす・創る」 ⑪「地域やコミュニティを支える「住民と行政の役割」」	○松本市公民館発足70周年記念事業の一環として2日間に亘り、全国各地の地域づくり関係者を招き開催。	

年度	回数	日 程		運営全般の状況	備 考
		基 調 講 演	分 科 会 等		
		井上信宏 （信州大学経済法学部教授） □ゲストスピーカー 岩城和志 （淡路市社会福祉協議会 参事） 池田馨(NPO 法人ひと・ まちねっとわーく理事 長） 重森しおり(岡山市立中央 公民館社会教育主事) <全体会> 「住民主体の地域づくり、自 治と協働のまちづくりを進 めるために必要なものは 何か」 □コーディネーター 向井健 （松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学 科専任講師） □コメンテーター 小林文人 （東京学芸大学名誉教授） 伊藤麻理 （子どもが輝く食育ネット ワーク松本 代表） 木下巨一 （飯田市公民館副館長）			

2 松本市地域づくり市民活動研究集会

年度	回数	日 程		運営全般の状況	備 考
		基調講演	分科会等		
19	第1回松本市地域づくり推 進市民フォーラム 2007.10.23(火) 14:00～16:30 あがたの森文化会館 講堂 主催： 松本市地域づくり推進 市民会議	<報告・事例発表> □松本市地域づくり推進市 民会議の活動報告 田中 秀一 氏 （松本市地域づくり推進 市民会議委員長） □3地区の取組の事例発表 （松原・今井・安原地区） <基調講演> □「都市内分権と住民自治」 大森 彌 氏 （東京大学名誉教授）			
20	第2回松本市地域づくり推 進市民フォーラム 2008.11.6(木) 14:00～16:30 松本市中央公民館 6階ホール(Mウイング) 主催： 松本市地域づくり推進 市民委員会	<シンポジウム> 「長野市・飯田市の地域づく りに学ぶ」 □コーディネーター 田中 秀一 氏 （松本市地域づくり 推進市民委員会委員長） □パネラー ・山下 四郎 氏 （長野市川中島地区自治 協議会長） ・花立 勝広 氏 （長野市都市内分権推進 室係長） ・松下 英一 氏 （飯田市鼎地区まちづくり 委員会会長） ・玉置 利幸 氏 （飯田市鼎自治振興セン ター所長） ・三村 伊津子 氏 （松本市町内公民館長会			

		会長) □コメンテーター 尻無浜 博幸 氏 (松本大学総合経営学部・観光ホスピタリティ学科准教授)			
21	第3回松本市地域づくり推進市民フォーラム 2009.12.1(火) 14:00～16:30 松本市中央公民館 6階ホール(Mウイング) 主催: 松本市地域づくり推進委員会	テーマ:「地域づくりにおける地域と市の連携について」 <基調講演> 高橋 雅夫 氏 (日本大学法学部教授) <シンポジウム> □コーディネーター 田中 秀一 氏 (松本市地域づくり推進委員会委員長) □パネラー ・神林 浩正 氏 (上田市塩田地域自治センター長) ・三村 伊津子 氏 (松本市町内公民館長 会長) ・中原 信一 氏 (松本市安原地区町会連合会長) ・松本市職員 □コメンテーター 高橋 雅夫 氏 (日本大学法学部教授)			
22	第4回松本市地域づくり推進市民フォーラム 2010.12.20(月) 14:00～16:30 松本市中央公民館 6階ホール(Mウイング) 主催: 松本市 主管: 松本市地域づくり推進委員会	テーマ:「地域づくりを担う地区と行政のあり方について」 <基調講演> 松田 武雄 氏 (名古屋大学大学院教授) <松本市地域づくりの取組状況報告> 寺沢 健 (松本市政策部政策課長) <パネルディスカッション> □コーディネーター 廣瀬 豊 氏 (松本大学松商短期大学部准教授) □パネリスト ・池田 正 氏 (城北地区住みよい町づくりを進める会会長) ・北野 雅弘 氏 (和田地区地域づくり協議会会長) ・二木 義照 氏 (松本市町会連合会会長) ・六井 洋子 氏 (松本市地域づくり推進委員会委員) □助言者 ・松田 武雄 氏 (名古屋大学大学院教授) ・田中 秀一 氏 (松本市地域づくり推進委員会委員長)			
23	第5回松本市地域づくり市民フォーラム 2012.2.3(金) 13:30～16:30 松本市中央公民館 6階ホール(Mウイング)	テーマ:「松本らしい地域づくりシステムの構築に向けて」 <基調講演> 松田 武雄 氏 (名古屋大学大学院教授) <松本市における地域づく	<分科会> 第1分科会 「地域における課題解決について」 □コーディネーター 松田 武雄 氏 (名古屋大学大学院教授)	○所管が、政策課から地域づくり課に変更 ○主管が、松本市地域づくり市民委員会に変更	○第一次松本市地域づくり実行計画策定 ○市民環境部に、地域づくり課設置

	主催： 松本市 主管： 松本市地域づくり市民委員会	りの取組み状況報告＞ 松本市 地域づくり課職員	□事例発表 大澤 俊郎 氏 (入山辺地区町会連合会会長) 第2分科会 「地区組織の連携について」 □コーディネーター 木内 義勝 氏 (松本市市民活動推進委員会委員長) □事例発表 太田 尚行 氏 (笹賀地区町会連合会会長) 第3分科会 「地域づくりを支援するための行政システム」 □コーディネーター 廣瀬 豊 氏 (松本市地域づくり市民委員会委員長・松本大学松商短期大学部准教授)		
24	平成24年度 松本市地域づくり市民活動研究集会 2013.1.26(土) 13:30～16:30 松本市中央公民館 6階ホール(Mウイング) 主催： 松本市 主管： 松本市地域づくり市民委員会	テーマ：「地域課題を解決する協働の地域づくりについて」 ＜松本市における地域づくりの取組み状況報告＞ 松本市 地域づくり課職員 ＜基調講演＞ 小林 文人 氏 (東京学芸大学名誉教授)	＜分科会＞ 第1分科会 「買物弱者対策について」 □コーディネーター 白戸 洋 氏 (松本大学教授) □事例発表 ・杉原 徳彦 氏 (NPO法人お助け機動隊代表(笹賀地区)) ・太田 篤谷 氏 (寿台地区町会連合会会長) 第2分科会 「誰もが参加できる町会運営」 □コーディネーター 築山 崇 氏 (京都府立大学教授) □事例発表 ・北原 三郎 氏 (城北地区住みよい町づくりを進める会会長) ・山下 一保 氏 (並柳団地町会(庄内)町会長) 第3分科会 「若者を取り込んだ地域づくり」 □コーディネーター 井上 信宏 氏 (信州大学教授) □事例発表 ・筒井 敏男 氏 (田川地区町会連合会会長) ・丸山 克巳 氏 (神林地区町会連合会会長) 第4分科会 「歴史・文化を活かした地域づくり」 □コーディネーター 木村 晴壽 氏 (松本大学教授) □事例発表 ・降旗 都子 氏 (第三地区まちづくりを考える会代表) ・川久保 勝義 氏 (新村駅舎を残す会会長) 第5分科会 「緩やかな協議体による地域づくり」 □コーディネーター 武者 忠彦 氏 (信州大学准教授) □事例発表 ・倉科 豊 氏 (梓川地区まちづくり協議会会長)	○集会名称が、松本市地域づくり市民活動研究集会に変更	

			・中原 信一 氏 (安原地区まちづくり協議会会長)		
25	平成25年度 松本市地域づくり市民活動研究集会 2013.12.14(土) 13:30~16:30 長野県松本合同庁舎講堂 主催: 松本市、松本市地域づくり研究連絡会 主管: 松本市地域づくり市民委員会	テーマ:「市民と行政の協働による地域づくりに向けて」 <基調講演> ・菅谷 昭 (松本市長) ・伊藤 学司 氏 (長野県教育長) <パネルディスカッション> □コーディネーター 井上 信宏 氏 (信州大学教授) □パネリスト ・白戸 洋 氏 (松本大学教授) ・大澤 好市 氏 (松本市町会連合会会長) ・三村 伊津子 氏 (松本市地域づくり市民委員会委員) □報告者 廣瀬 豊 氏 (松本市地域づくり市民委員会委員長) □助言者 伊藤 学司 氏 (長野県教育長)		○主催が、松本市・松本市地域づくり研究連絡会に変更	○松本大学、信州大学経済学部及び松本市により、地域づくりの分野で相互に連携・協力し、資源及び研究成果等の交流を促進するための地域づくり研究連絡会を設置
26	平成26年度 松本市地域づくり市民活動研究集会 2014.12.13(土) 14:00~16:30 松本市浅間温泉文化センター 主催: 松本市、松本市地域づくり研究連絡会 主管: 松本市地域づくり市民委員会	テーマ:「学び・気づきから始める地域づくり」 <ポスターセッション> 35地区の地域づくり事例の展示、説明 <地域づくり事例発表> 島立・入山辺・四賀地区 <パネルディスカッション> □コーディネーター 武者 忠彦 氏 (信州大学准教授) □パネリスト ・北野 友子 氏 (かぶらの会) ・山岸 勝子 氏 (松本市社会福祉協議会四賀地区センター課長) ・白戸 洋 氏 (松本大学教授) □助言者 菅谷 昭 (松本市長)			○市民環境部に地域づくり推進本部を設置 ○市内35地区に地域づくりセンターを設置
27	平成27年度 松本市地域づくり市民活動研究集会 2015.12.19(土) 13:30~16:30 松本市浅間温泉文化センター 主催: 松本市、松本市地域づくり研究連絡会 主管: 松本市地域づくり市民委員会	テーマ:「病んでも幸せに暮らせる地域とは」 <基調講演> 演題「病んでも老いても幸せに暮らせる松本に」 飯島 恵道 氏 (ケア集団ハートビート代表、東昌寺住職) <パネルディスカッション> □コーディネーター 井上 信宏 氏 (信州大学経済学部教授) □コメンテーター 白戸 洋 氏 (松本大学総合経営学部教授) □パネリスト ・唐木 千穂 氏 (あかはね内科・神経内科医院院長) ・原 京子 氏			○地域づくり部設置

		(鎌田地区民生委員・児童委員) ・飯島 恵道 氏			
28	未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会 2017.1.28(土)～29(日) ①12:30～19:25 ②8:30～12:40 まつもと市民芸術館、中央公民館 主催： 松本市、松本市教育委員会、松本市地域づくり研究連絡会 共催： 長野県生涯学習推進センター、飯田市、尼崎市 主管： 「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会松本大会」実行委員会 後援： 総務省、文部科学省、全国公民館連合会、長野県、長野県教育委員会、長野県公民館運営協議会	テーマ:「住民主体の地域づくり～自治と協働のまちづくりをめざして～」 <前大会までの集会振り返り> 「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会とは～過去2大会の振り返り～」 □進行 木下巨一 氏 (飯田市民館副館長) □登壇者 ・竹林昌秀 氏 (政策研究大学院大学特任講師・まんのう町議会議員) ・船木成記 氏 (兵庫県尼崎市顧問) ・牧野篤 氏 (東京大学大学院教育学研究科教授) <パネルディスカッション> 「松本が育んできた住民自治と協働の力を、今後のまちづくり・地域づくりへどのように活かしていくのか」 □コーディネーター 築山崇 氏 (京都府立大学学長) □パネリスト ・伊藤学司 氏 (前長野県教育長) ・白戸洋 氏 (松本大学総合経営学部教授) ・三村伊津子 氏 (元松本市町内公民館長 会長) ・菅谷昭 (松本市長) <全国リレートーク> 「自治と共同のまちづくりを進めるために求められるものは何か」 □コーディネーター 井上 信宏 氏 (信州大学経済学部教授) □ゲストスピーカー ・岩城 和志 氏 (淡路市社会福祉協議会 参事) ・池田 馨 氏 (NPO 法人ひと・まちなとわーく理事長) ・重森 しおり 氏 (岡山市立中央公民館 社会教育主事) <全体会> 「住民主体の地域づくり、自治と協働のまちづくりを進めるために必要なものは何か」 □コーディネーター 向井 健 氏	①「どうすれば「自分たちの地域は自分たちで創る」という発想が生まれるのか？」 ②「住民が主体的に地域を元気にする取り組み」 ③「地域資源を活かした多様な連携による健康づくりの取組みから」 ④「魅力を感じる地域の作り方、その実践のヒント」 ⑤「地域づくりの担い手となる子どもを育てる～子どもは地域の宝物～」 ⑥「聴こえますか？こどもの SOS」 ⑦「だれもが安心できる暮らしをめざした「地域での支え合い」」 ⑧「若者が持つ地域づくりの可能性と話題」 ⑨「自然環境の保全と地域づくり」 ⑩「学びが地域を動かす・創る」 ⑪「地域やコミュニティを支える「住民と行政の役割」」	○松本市民館発足70周年記念事業の一環として2日間に亘り、全国各地の地域づくり関係者を招き開催。 ○地域づくり市民活動研究集会と公民館研究集会との共同開催	

		(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 専任講師) ☐ コメンテーター ・小林 文人 氏 (東京学芸大学名誉教授) ・伊藤 麻理 氏 (子どもが輝く食育ネット ワーク松本 代表) ・木下 巨一 氏 (飯田市公民館副館長)			
--	--	---	--	--	--

3 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い

年度	回 数	日 程		運営全般の状況	備 考
		基調講演	分科会等		
29	未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第33回 公民館研究集会 地域づくり 市民活動研究集会～ 2018.2.18(日) 9:30～11:30 対談 松本市中央公民館 6階ホール(Mウイング) 13:30～16:30 分科会 松本市中央公民館 主催:松本市、松本市教育 委員会、松本市地域づくり 研究連絡会 主管:「未来へつなぐ私 たちのまちづくりのつどい」 実行委員会	テーマ:「未来につな ぐ、これからの松本 市の地域づくり」 <対談> ☐ 登壇者 ・白戸 洋 氏 (松本大学総合経 営学部 教授) ・牧野 篤 氏 (東京大学大学院 教育学研究科教 授)	①「担い手不足、本当の原因は何なの？」 ②「子どもが輝く地域づくり」 ③「すべての子どもにやさしいまちづくり」 ④「地域包括ケアってなあに？」 ⑤「ちょっと地域のことで考えてみませんか？」 ⑥「地域の“宝”～地域づくりに結び付けていくために～」 ⑦「災害が起きたとき、あなたは、あなたの地域はどう動き ますか？」 ⑧「地域課題の掘り起こしと解決に市民と地域課題解決に 市民と地域課題解決ゼミの学生が共同して学ぶ」	○地域づくり市民 活動研究集会と 公民館研究集会 との共同開催	
30	未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第34回 公民館研究集会 地域づくり 市民活動研究集会～ 2019.2.17(日) 中央公民館(Mウイング) 9:30～11:00 基調講演(6階ホール) 11:00～12:30 市民活動商店街 13:30～15:30 分科会 15:45～16:30 まとめの会 主催:松本市、松本市教育 委員会、松本市地域づくり 研究連絡会 主管:「未来へつなぐ私 たちのまちづくりのつどい」 実行委員会	テーマ:「“未来につ なぐ”私たちにでき ること」 <対談> ☐ 登壇者 ・牧野 篤 氏 (東京大学大学院 教育学研究科教 授) ・村上 英己 氏 (全国公民館連合 会事務局長)	①「子どもたちの本音を知り、子ども目線を生かした地域 活動を知ろう！」 ②「楽しみながら『仲間づくり&生きがいづくり』～松本山 雅を活かした地域づくりの取り組み～」 ③「そうなの？障害者あるある！～出会いの場・しゃべり 場・共感する場～」 ④「子どもたちのほっとできるところって？学校？家庭？ 他にも・・・？」 ⑤「超少子高齢社会を支える地域の力」 ⑥「必要とされる町会ってなんだろう？」 ⑦「この先、人口が減るとどうなるの？」 ⑧「地域の見える化～GISの活用法とは～」 ⑨「協働～市民と市のお互いの心がけ～」 ⑩「松本の歴史・文化を次世代に伝えていくために」 ⑪松本市の交通問題について話し合いませんか？」	○地域づくり市民 活動研究集会と 公民館研究集会 との共同開催	

元	未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会 令和元年度地域づくり市民活動研究集会～ 2020.2.16(日) 中央公民館(Mウイング) 9:30～11:00 基調講演(6階ホール) 11:00～12:30 市民活動商店街 13:30～15:30 分科会 15:45～16:30 まとめの会 主催:松本市、松本市教育委員会、松本市地域づくり研究連絡会 主管:「未来へつなぐ私たちのまちづくりのつどい」実行委員会	テーマ:「町内公民館からはじめるコミュニティづくり」 <講師> □登壇者 ・牧野 篤 氏 (東京大学大学院教育学研究科教授)	① 松本の歴史・文化を次世代に伝えていくために ② 住民で考える！元気な田舎のつくりかた ③ ボランティアの本質を深めよう ～自分のため？人のため？このもやもや感は一体何だ！？～ ④ SDGsって何？～身近でひとりひとりにできるSDGsを考えよう～ ⑤ 誰もが共に学びあう地域～障がいを知り、地域で学び合う場づくりを考えよう～ ⑥ もっといい話し合いしてみませんか？ ⑦ 理想の交通って…？ in 松本 ⑧ 町内公民館の可能性を考えよう！～お互いに支え合う身近なコミュニティを目指して～ ⑨ 観光を活かしたまちづくりって？ ⑩ 平和な社会って何だろう？平和な社会をつくるためにできることは？ ⑪ 公民館が、住民の自由な学習や活動の拠り所となるために	○地域づくり市民活動研究集会と公民館研究集会との共同開催	
2	未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第36回公民館研究集会 令和2年度地域づくり市民活動研究集会～ 2021.2.21(日) 中央公民館(会議室3-2) をスタジオにオンライン開催 10:10～11:50 主催:松本市、松本市教育委員会、松本市地域づくり研究連絡会 主管:「未来へつなぐ私たちのまちづくりのつどい」実行委員会	テーマ:「学びと自治の力で公共を変えていく～コロナ禍で考える、公民館の役割～」 <パネリスト> □登壇者 ・木下巨一氏(長野県生涯学習推進センター所長) ・向井健氏(松本大学総合経営学部准教授) ・降旗都子氏(第三地区まちづくり協議会副会長) ※YouTube松本市公式チャンネルでLive配信。終了後オンデマンド配信	※新型コロナウイルス感染症対策のため延期 令和3年6～7月に、①・⑦の2つの分科会が実施 ① 松本の歴史・文化を次世代に伝えていくために ② 『対話』のある場っていいと思いませんか？ ③ 『不登校生徒を真ん中に！』～不登校の概念も無くなる未来について語り合しましょう～ ④ 災害が起きた時、私たちにできることは？ ⑤ 地域社会におけるスピリチュアル(魂)ケアとグリーフ(悲嘆)ケア ⑥ バス使います宣言！？～未来を走る公共交通のカタチとは～ ⑦ みんなの居場所 町内公民館のこれからを考えよう ⑧ 私たちの平和は今どうなっているの？身近で話し合い、地域へ発信！ ⑨ 私たちにとって身近なSDGsの教材作り ⑩ コミュニティスクール進んでる？ withコロナ ⑪ 聞かせてください。公民館、福祉ひろば、地域づくりセンターへの貴方の思い ⑫ あなたの望む松本を実現しませんか？自由に話をしましょう。	○地域づくり市民活動研究集会と公民館研究集会との共同開催	新型コロナウイルス感染症対策として、当初から会場を分散し、オンラインと対面によるハイブリット開催で準備。1月中旬にコロナ感染レベルが5になったため、事前に作成した判断基準により全体会のみオンライン開催とした。

未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い
－資 料 集－

編 集：「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会」
発 行：「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会」
発行日：令和4年2月20日